

NEWS RELEASE

報道関係各位

2011年5月14日

“育児と育樹、心は同じ”**第25回 ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン 植樹式**

～5月14日 ピジョン美和の森（茨城県常陸大宮市）にて開催～
三次真一郎常陸大宮市長をはじめ、赤ちゃんとそのご家族50家族が参加
オカリナ奏者・宗次郎氏から演奏をプレゼント

ピジョン株式会社（本社：東京、社長：大越 昭夫）は、5月14日（土）ピジョン美和の森（茨城県常陸大宮市）において、赤ちゃんの誕生を記念した植樹式を開催しました。

第25回目となる今年は、開催地であるピジョンの森に、クヌギ（1500本）・ナラ（1000本）・イロハモミジ（500本）・オオヤマザクラ（500本）他、計5000本の広葉樹の苗木を植樹しました。参加者は、2010年1月1日～2011年2月28日までに誕生した赤ちゃんとその家族およそ50家族です。本日の来賓には、植樹者代表の船橋鈴花ちゃんのご家族はじめ、三次真一郎 常陸大宮市長、陶製の笛オカリナの第一人者・宗次郎氏に臨席して頂く他、主催者として、ピジョン（株）代表取締役社長の大越昭夫らが出席しました。そして、記念植樹をした後、同じ植樹地にて、東日本大震災復旧・復興を祈念し、常陸大宮市の木である、さくらを植樹いたしました。

【植樹者代表者コメント：船橋鈴花ちゃんのご家族（鈴花ちゃんのお父様の正人様）】**（千葉県流山市在住 2010年12月25日生まれ 女の子）**

「常陸大宮市に実家がある妻と娘・鈴花と今回初めて植樹式に参加させて頂きました。次世代の子どもたちのための森づくりに参加し、あらためてイベントの意義を感じ、一生の宝物になりました。娘の成長とともに、記念樹の生長も見守りながら何度も訪れたいです。」

【三次真一郎 常陸大宮市長コメント】

「25回目の植樹式、おめでとうございます。“育児と育樹、心は同じ”というスローガンのもと、今後30年、50年と続き、さらなる発展をお祈りしております。」

“育児と育樹、心は同じ”のスローガンのもと、親子の一生の思い出作りと、次世代の子どもたちへの森林保護を目的に、1987年から始まったこの植樹活動は今年で25回目を迎えます。これまでに、全国から約10万人の赤ちゃんが参加しており、今後も、キャンペーンに参加して頂いた家族の思い出の場、また地元の方との交流の場として、この森を守り続けていきます。

「第25回 赤ちゃん誕生記念植樹キャンペーン 植樹式」開催概要

- 日 時 : 2011年5月14日(土)
- 場 所 : 「ピジョン美和の森」 茨城県常陸大宮市鷺子(とりのこ)
- 主 催 : ピジョン株式会社
- 後 援 : 常陸大宮市
- 協 力 : 美和木材協同組合
- 実施内容
 - 9:30～ 第25回植樹式典 開会挨拶
 主催者挨拶/ピジョン株式会社 代表取締役社長 大越 昭夫
 来賓者挨拶/常陸大宮市長 三次 真一郎
 来賓者挨拶/陶製の笛オカリナの第一人者・宗次郎氏
 植樹代表挨拶/船橋 鈴花(すずか)ちゃんのご家族
 - 10:00～ 記念植樹
 - 10:25～ 復興祈念植樹
 植樹する木: さくら(常陸大宮市の木)
 - 10:30～ 一般植樹
 - 12:00～ 終了

「ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン」について

育樹キャンペーンとは、赤ちゃんの誕生を共に祝い健やかな成長を記念して、弊社が1986年より25年にわたって継続している植樹活動です。今年も5000名の赤ちゃんを募り、茨城県常陸大宮市鷺子の「ピジョン美和の森」にナラ・クヌギなどの広葉樹の苗木5000本の植樹を行います。植樹は当社が代行して行い、美和の森にある休憩施設『すくすくハウス』に設置された名簿に、育樹キャンペーンの当選されたお子様全員のお名前を記します。植樹は7月頃に完了する予定で、ご希望の方にはそれ以降現地を訪れ記念樹の生長を見守って頂くことができます。これまで参加した人数は約10万人の赤ちゃんで、植樹地総面積は90ha(90万㎡)になります。



第25回ピジョン赤ちゃん誕生記念キャンペーン 植樹式
(2011年5月14日開催)